

放課後等デイサービス スマイルキッズ久保田
自己評価表 職員 令和元年度

職員数 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	7	0	0	基準は満たしているが、スペースに対して利用者数が多く感じる場合もある。施設移転も含めて対応を検討する。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	0	0	利用者の状況によっては一対一での対応が必要となり、職員が足りないと感じる場合もあるが、おおむね適切である。
業務改善	③	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	5	0	勤務時間の都合上、参加できていない職員もいる。広く職員が参画できるよう時間や頻度を検討する。
	④	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	6	0	アンケート調査を実施している。結果を受け止め分析し、業務改善につなげるよう努めていく。
	⑤	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	ホームページに掲載予定である。
	⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	1	第三者による外部評価を行い、業務改善につなげるよう努める。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	社内研修、社外研修ともに定期的に行っている。
適切な 支援の 提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	相談支援専門員と連携し、子どもと保護者のニーズや課題を分析し計画の作成を行っている。
	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	0	標準化されたアセスメントツールを使用し、子どもの状況を適切に把握していく。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	5	0	職員間での情報共有や相談はあるが、一部の職員が立案に携わる場合が多い。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	4	0	利用者の特性を考慮し、活動プログラムを変化させながら支援にあたっている。
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	3	0	利用期間や時間に応じて、事業所で設定した課題、本人の希望に合わせた制作などの活動を設定している。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	子どもひとりひとりの状況を考慮し、無理のない範囲で集団活動と個別活動を組み合わせ、計画を作成している。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	最近の利用日の様子や、その日の支援について職員間で相談をしている。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	1	0	職員間で振り返りを行うとともに、日中活動日誌に記入をし、情報共有に努めている。
	⑯	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	その日の活動の様子を、利用者の連絡帳、日中活動日誌に記録し、支援会議の際に参照できるようにしている。

	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	相談支援事業所や他事業所、関係機関と連携しながら行っている。
	⑱	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	6	0	基本活動の組み合わせ方を変えながら支援を行っているが、子どもの状況によっては複数の活動ができない場合もある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	サービス担当者会議には、事前に他職員からも情報収集を行ったふさわしい者が参画している。
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	2	0	学校とは、利用者の送迎時、また必要時に電話などで、情報共有を行っている。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	6	0	相互理解を深め、双方向の情報共有ができるよう努めている。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	7	0	外部研修に参加する機会をより積極的に設け、助言を受けたり専門性を高めたりできるよう努めていく。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	0	保育園との交流会を行っている。放課後児童クラブや児童館との交流は、今後機会を設けていく。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	7	0	今後は、より積極的に参加できるよう努めていく。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	送迎時の面談、電話連絡、連絡帳などで情報を共有し、より良い支援につなげている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6	0	保護者向けの研修会など、ペアレント・トレーニングの機会を積極的に設けていく。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	見学、利用契約の際には、重要事項について説明を行っている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	相談があれば、適宜対応し、保護者に寄り添った支援を行えるよう努めている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	年1～2回、家族交流会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けている。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	6	0	現在のところ、苦情をいただいたことはないが、苦情があった場合には、速やかに対応できるようにしている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	毎月のスマイルキッズ通信や、フェイスブックなどで、活動の様子や行事予定等を発信している。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	個人情報は鍵付きのラックに保管し、取り扱う際には各職員が注意をしている。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	絵カードや短い言葉を使った支援を取り入れ、子どもとの意思疎通ができるよう努めている。

	③④	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	1	今後検討していく。
非常時等の対応	③⑤	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	6	0	マニュアルは策定しているが、周知が不十分である。今後、周知に取り組んでいく。
	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	職員のみでの訓練に加え、利用者が参加する避難訓練も行っている。
	③⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	定期的に虐待防止研修を受講し、職員の意識の見直しを行っている。
	③⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	6	0	どのような場合に身体拘束を行うかについては把握しているが、現在のところ身体拘束が必要になる利用者はいない。
	③⑨	ヒヤリハット事例集を作成して事業所で共有しているか	3	4	0	事故については全体報告がされているが、ヒヤリハット事例集の作成は不十分であるため、今後内容を充実させていく。